

2020年度の産学連携プログラムの実施状況

Industry-University Consortium on Logistics

ロジスティクス産学連携プログラムは、流通経済大学流通情報学部が2010年度に正式に立ち上げ、今年度が11年目となります。その間、プログラムは確実に定着し、様々な効果が出ています。さらに2018年度から展開している文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成—高度なロジスティクス・イノベーション・プロジェクト—」の人材育成の主要な柱として位置づけられました。

プログラムの講師は、ロジスティクス関連の業界団体、物流業、運輸業、メーカー、卸売業、小売業、コンサルタントなど、企業を中心とした幅広い人材で構成されております。

ロジスティクス産学連携プログラムは、従来、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「ロジスティクス改善演習」の7科目で構成されてきました。ただし、「ロジスティクス改善演習」については、2020年度から産学連携科目ではなくなりました。また、2018年度より、新松戸キャンパスで「IoTロジスティクス実践講座」、龍ヶ崎キャンパスで「地域ロジスティクス実践講座」を開講し、

計8科目となりました。また、関連する寄付講座として、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」の2科目があります。

さらに2020年度より、「プロジェクト学習(ロジスティクス)」を開講しました。「プロジェクト学習(ロジスティクス)」は、従来の実践講座と違い、1つのテーマについて、学生がグループワークで取り組み、最終的に提案を発表するというものです。2020年度のテーマは、「千葉県産品を輸出する」であり、JETRO千葉と連携して講義を進めました。しかしながら2020年度については、新型コロナウイルス感染拡大のため、グループワークが実施できず、各学生がまとめ、レポート提出するというかたちとなりました。

本稿では、2020年度の産学連携プログラムの実施状況の概要をご報告させていただきます。なお、2020年度については新型コロナウイルス感染拡大の対応として、すべてオンライン授業で実施し、「ロジスティクス企業訪問講座」は非開講となりました。また、流通情報学部は、2019年度より、龍ヶ崎キャンパスでの募集を停止していることから、一部科目の龍ヶ崎キャンパスの開講はしていません。さらに、開講している科目についても、履修者数が少なくなっています。

「日本通運寄付講座」は、春学期に龍ヶ崎キャンパス、秋学期に新松戸キャンパスで開

講し、それぞれ全15回、日本通運NITTSUグループユニバーシティの山根泉氏に講義をしていただきました。

なお、「情報システム実践講座」、「ダイレクトマーケティング実践講座」、「ロジスティクス企業訪問講座」、「日本通運寄付講座」、「全国通運連盟寄付講座」は2学年以降の履修科目、「ロジスティクス実践講座」、「物流マネジメント実践講座」、「国際物流実践講座」、「ロジスティクス改善演習」、「IoTロジスティクス実践講座」、「地域ロジスティクス実践講座」は3学年以降の履修科目となっています。

①「ロジスティクス実践講座」の2020年度の実施状況

「ロジスティクス実践講座」は、荷主企業等を中心にロジスティクス実務者を招き、各企業のロジスティクスシステムの現状を学び、ロジスティクスの考え方を現場から考えていくことを目標としています。また、環境問題あるいは災害時対応といった新たな問題についても学びます。ロジスティクス実践講座は春学期に龍ヶ崎キャンパス、秋学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表1、表2のとおりです。龍ヶ崎の受講生数は春学期7人、新松戸の受講生数は秋学期52人でした。

表1 「ロジスティクス実践講座－春学期、龍ヶ崎」の2020年度の実施結果 春学期(7名)

回	テーマ	講師
1	ガイドダンスとロジスティクスの基礎知識	流通経済大学 洪京和
2	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
3	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
4	企業物流と物流業界の最近の動向(1)	元(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
5	企業物流と物流業界の最近の動向(2)	元(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
6	物流コストの定義と推移	合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 久保田精一氏
7	卸売業の果たしている社会的貢献とは	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
8	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
9	ロジスティクスと包装	公益社団法人 日本包装技術協会包装技術研究所 金子武弘氏
10	ロジスティクス最前線	ロジスティクスの最新動向 山田経営コンサルティング 山田健氏
11	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
12	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
13	メーカーサプライチェーンロジスティクスー東芝の事業競争力強化に向けたロジスティクス戦略	(株)東芝 正木裕二氏

表2 「ロジスティクス実践講座－秋学期、新松戸」の2020年度の実施結果 秋学期(52名)

回	テーマ	講師
1	日本のサプライチェーンは卸売業抜きでは機能しない ～卸売業の果たしている社会的貢献とは～	ロジスティクス経営士 楠堂昌純氏
2	物流改善のポイントは-1	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
3	物流改善のポイントは-2	紙中コンサルティング 紙中英伸氏
4	ロジスティクスの最新動向	山田経営コンサルティング 山田健氏
5	激変する物流への課題	一般社団法人 日本物流資格士会 元ハウス物流サービス(株) 早川哲志氏
6	物流不動産ビジネス	イーソウコ(株) 大谷巖一氏
7	企業物流と物流業界の最近の動向-1	元(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
8	企業物流と物流業界の最近の動向-2	元(株)日通総合研究所 長谷川雅行氏
9	物流コストの定義と推移	合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 久保田精一氏
10	トラック輸送の実態とドライバー不足問題について	(株)日通総合研究所 大島弘明氏
11	ロジスティクス企業に期待されていること	日通情報システム(株) 藤田光樹氏
12	ロジスティクスと包装	公益社団法人 日本包装技術協会包装技術研究所 金子武弘氏
13	ロジスティクスと環境-1	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
14	ロジスティクスと環境-2	(株)ロジスティクス革新パートナーズ 菅田勝氏
15	メーカーサプライチェーンロジスティクスー東芝の事業競争力強化に向けたロジスティクス戦略	(株)東芝 正木裕二氏

②「物流マネジメント実践講座」の2020年度の実施状況

「物流マネジメント実践講座」は、トラック、鉄道、3PL等の物流事業者及び有識者を招き、ロジスティクス管理に関する現状を学ぶことを目標としています。また、企業の物流

戦略や多様な物流サービスの事例といった最新の動きについても学びます。半期科目であり、春学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表3のとおりです。新松戸の受講生数は58人でした。

表3 「物流マネジメント実践講座－春学期、新松戸」の2020年度の実施結果(58名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	物流事業者の役割	流通経済大学 矢野裕児
3	物流業界の特徴-1	流通経済大学 矢野裕児
4	物流業界の特徴-2	流通経済大学 矢野裕児
5	乾汽船の挑戦	乾汽船(株) 西尾孝久氏
6	宅急便の変遷と近年の変化	ヤマト運輸(株) 中西優氏
7	鉄道貨物輸送の仕組みとJR貨物の取り組み	日本貨物鉄道(株) 吉田真也氏
8	EC物流ビジネスについて	ロジ・ソリューション(株) 釜屋大和氏
9	物流改善について	ロジ・ソリューション(株) 釜屋大和氏
10	中小企業の生き残りをかけた取り組み	十和運送(株) 結束洋氏
11	トラック運送産業の概要	一般社団法人東京都トラック協会 井上豪氏
12	物流における倉庫の役割	一般社団法人日本倉庫協会 田代信行氏
13	文化財・美術品の輸送	元日本通運(株) 浅賀博靖氏

③「国際物流実践講座」の2020年度の実施状況

「国際物流実践講座」は、国際物流に携わる経営者、実務経験者を講師として招聘し、国際物流における最新動向、事例により、国

際物流の現状と課題を把握するとともに今後の展望を学修することを目標としています。春学期に半期科目として、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表4のとおりです。受講生数は74人でした。

表4 「国際物流実践講座－春学期、新松戸」の2020年度の実施結果(74名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	欧州の最新物流事情	流通経済大学 林克彦
3	インドの最新物流事情	川崎陸送株式会社 樋口恵一氏
4	米国の最新物流事情	(株)日通総合研究所 田阪幹雄氏
5	ASEANの最新物流事情	(株)日通総合研究所 大原みれい氏
6	船会社の国際物流戦略	センコー汽船(株) 辰巳順氏
7	商社の国際物流管理	住友商事(株) 河野達也氏
8	インテグレータの国際物流戦略航空	FedEx 山口邦男氏
9	航空貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 望月和徳氏
10	海上貨物フォワーダーの国際物流戦略	日本通運(株) 石橋齊氏
11	物流企業の海外展開(中国)	日本通運(株) 金井政隆氏
12	国際海上輸送の動向	日本海事センター 中村秀之氏
13	ロシアの最新物流事情	公益財団法人 環日本海経済研究所 辻久子氏

④「情報システム実践講座」の2020年度の実施状況

「情報システム実践講座」は、物流分野などに利用されている情報システムやその要素

技術などに関わる実務者を講師として招き、具体的事例を通して最近の動向や課題などについて学びます。また、システムやネットワークの設計・開発の手法についても学びます。

ロジスティクス産学連携コンソーシアムの紹介

半期科目であり、春学期は新松戸キャンパスにて、秋学期は龍ヶ崎キャンパスにて開講しました。各回のテーマ、講師は表5、表6の

とおりです。新松戸の受講生数は80人、龍ヶ崎の受講生数は10人でした。

表5 「情報システム実践講座－春学期、新松戸」の2020年度の実施結果(80名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ロジスティクスを支援する情報システム	流通経済大学 増田悦夫
3	ロジスティクスの最適化を支える情報システム	(株)フレームワークス 後藤一孝氏
4	ドローンの産業応用の現状と今後	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
5	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	ITコーディネータ実務研究会 吉山洋一氏
6	ITを活用した作業分析	(株)フレームワークス 後藤一孝氏
7	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	ユーピーアール(株) 小林道明氏
8	TMSとプローブデータ	光英システム(株) 池田勝彦氏
9	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
10	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
11	物流におけるIT、デジタル技術の活用シーン	グリットコンサルティング(同) 野口雄志氏
12	物流現場力強化のための物流技術(IoTによる作業情報と現場情報の可視化)	(株)MTI 粟本繁氏
13	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏

表6 「情報システム実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2020年度の実施結果(10名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 増田悦夫
2	ロジスティクスの最適化を支える情報システム	(株)フレームワークス 後藤一孝氏
3	ロジスティクスと情報システム	(株)フレームワークス 秋葉淳一氏
4	TMSとプローブデータ	光英システム(株) 池田勝彦氏
5	Webシステム開発の現状と今後	ヒューマネテック(株) 田中裕樹氏
6	情報システム構築におけるプロジェクトマネジメントの実践	(株)クレスコ 吉山洋一氏
7	物流作業におけるスマートデバイス物流情報機器導入について	ユーピーアール(株) 小林道明氏
8	ITを活用した作業分析	(株)フレームワークス 後藤一孝氏
9	ドローンの産業応用の現状と今後	ドローンワークス(株) 今村博宣氏
10	日本の物流におけるデジタルの活用	グリットコンサルティング(同) 野口雄志氏
11	SCMに於ける情報セキュリティの課題	飛天ジャパン(株) 傘義冬氏
12	オルタナティブデータを用いた生活者をターゲットとするマーケティング分析の世界	技研商事インターナショナル(株) 市川史祥氏
13	パレットにおけるRFIDの利活用	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
14	物流現場力強化のための物流技術(IoTによる作業情報と現場情報の可視化)	(株)MTI 粟本繁氏
15	まとめ	流通経済大学 増田悦夫

⑤「ダイレクトマーケティング実践講座」の2020年度の実施状況

「ダイレクトマーケティング実践講座」は、近年、市場が大きく拡大している通信販売、ネット販売といったダイレクト・マーケティングをテーマに、通販業界の実務家を招き、講義を進めます。ダイレクト・マーケティングの進展は、小売業における店舗型から無店舗型への変化というだけでなく、メーカー、

卸、小売のサプライチェーン、さらに物流業に大きな影響をもたらしつつあります。本講座は、このような展開を、広く学んでいきます。半期科目であり、秋学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表7のとおりです。受講生数は114人でした。なお、本講座は公益社団法人日本通信販売協会が後援しています。

表7 「ダイレクトマーケティング実践講座－秋学期、新松戸」の2020年度の実施結果(114名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	ネット通販市場の動向	柿尾正之事務所 元 公益社団法人 日本通信販売協会 柿尾正之氏
3	ライオンのダイレクトマーケティング	ライオン(株) 永井隆志氏
4	ホントに痩せてる!?テレビ通販の真実 番組等表現及び商品チェックの現状	(株)グランマルシェ 倉又徹夫氏
5	(株)スクロール&(株)スクロール360	(株)スクロール 高山隆司氏
6	物流職30年のできたこと	(株)カウネット 若林智樹氏
7	インターネット通販の歩みとマーケティング	中山茂マーケティングデザイン(株) 元(株)千趣会 中山茂氏
8	通販業界の現状と課題	公益社団法人 日本通信販売協会 田邊薫氏
9	地方発 通信販売の現状	(株)ふくや 平山高久氏
10	「商品」と「表現」から読み解く説得の方程式	IWCコンサルティング 高遠裕之氏
11	フルフィルメントサービスについて	(株)スクロール360 勝井武二氏
12	ダイレクトマーケティングとロジスティクス	流通経済大学 矢野裕児
13	オムニチャネルとラストマイル	流通経済大学 矢野裕児

⑥「IoTロジスティクス実践講座」の2020年度の実施状況

「IoTロジスティクス実践講座」は、2018年度から新たに開講された科目です。最近のIoT、ロボット、AIなどの技術の進展は目覚ましく、この動向は今後ロジスティクスを大きく変革していくことが予想されます。本講座では、このようなIoT、ロボット、AIなどの現状、さらにロジスティクス分野での応用

可能性、そしてロジスティクスが今後どのような展開をしていくのかについて、考えていきます。本講座は、IoT、ロボット、AI関連、物流関連の客員講師から講義をしていただくかたちです。半期科目であり、秋学期に新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表8のとおりです。受講生数は69人でした。

表8 「IoTロジスティクス実践講座－秋学期、新松戸」の2020年度の実施結果(69名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	IoT、ロボット、AIで激変するロジスティクス	(株)ダイワロジテック 秋葉淳一氏
3	RFIDの最新動向と活用事例	東芝テック(株) 神戸幸彦氏
4	物流ネットワークでの情報化	日本パレットレンタル(株) 永井浩一氏
5	ロジスティクス技術のトレンド(世界と日本の比較から)	(株)日通総合研究所 井上文彦氏
6	IoT&エッジコンピューティング&サプライチェーンプランニング、 コーヒーマシンを活用したロジスティクスIoTソリューションとDX	三井倉庫ロジスティクス(株) 松川健一氏
7	デジタルで連携するロジスティクス、ロジスティクスの未来を見据えて	花王(株) 山口裕人氏
8	物流業界におけるロボティクス、IoTの活用ースマートロジスティクスー	(株)日立物流 神宮司孝氏
9	自動運転、隊列走行など新たな輸送スキームの現状と課題、DX 社会における物流センター等の省力化、省人化	日本通運(株) 中野喜正氏
10	ウィズコロナ/DX時代の物流変革と近未来展望	エルテックラボ 菊田一郎氏
11	生産と物流「Industry 4.0」と「Logistics 4.0」	味の素(株) 恒吉正浩氏
12	IoTがもたらすロジスティクス変革I	流通経済大学 矢野裕児
13	IoTがもたらすロジスティクス変革II	流通経済大学 矢野裕児

⑦「地域ロジスティクス実践講座」の2020年度の実施状況

「地域ロジスティクス実践講座」は、2018年度から新たに開講された科目です。地域の

経済、産業、さらには我々が生活する上において、物流、ロジスティクスは重要な役割を果たしています。本講座は、地域経済、地域産業、我々の生活において、物流、ロジスティ

クスがどのような役割を果たしているかについて、広く理解することを狙いとしています。地域の物流の特徴を知ると同時に、地域農産物、特産品、地域小売業などの物流、ロジスティクスの仕組み、さらに最近問題となっている買い物弱者問題などの現状と課題など、様々な視点から考えます。そして今後、地域

活性化、地域発展において、物流、ロジスティクスがどのような役割を果たしていくべきか、新たな地域ロジスティクスのあり方について、考えていきます。半期科目であり、秋学期に龍ヶ崎キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表9のとおりです。受講生数は11人でした。

表9 「地域ロジスティクス実践講座－秋学期、龍ヶ崎」の2020年度の実施結果(11名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 矢野裕児
2	いばらきの地域特性～茨城県の産業と経済	常陽産業研究所 廣田善文氏
3	首都圏を支える茨城県の物流	十和運送(株) 結束洋氏
4	アパレル商品が海外縫製工場から店舗へ届けられるまで	(株)アダストリア 丸子淳一氏
5	持続可能な社会づくりに向けて	(株)諸岡 諸岡正美氏
6	茨城県の物流概況	一般社団法人茨城県トラック協会 茨城流通サービス(株) 小倉邦義氏
7	茨城県オリジナル品種の販売戦略及びプロモーション活動の取組	茨城県営業戦略部販売流通課 三田村剛氏
8	地域活性化とインフラの活用	(株)日本経済研究所 宮地義之氏
9	茨城県の物流政策と県内の動向	茨城県政策企画部交通政策課 中村浩氏
10	茨城県の産業と物流	流通経済大学 矢野裕児
11	地域ロジスティクスの視点から	流通経済大学 矢野裕児
12	物流は「宝の山」物流の目撃情報を利用したSCM推進	(株)カスミ 齋藤雅之氏
13	地域に根差した物流会社として	沼尻産業(株) 中崎裕市氏
14	地域に根差した企業として「ロジスティクス」への取組みについて	(株)日立物流東日本 小田切仁氏
15	激動する時代に求められる事業戦略	(株)ファーマーズ・フォレスト 松本謙氏

⑧「全国通運連盟寄付講座」の2020年度の実施状況

「全国通運連盟寄付講座」は、鉄道貨物輸送をテーマとして、物流博物館、JR貨物、鉄道利用運送事業者、荷主企業の実務者を招

き、鉄道貨物輸送の現状、課題、今後の展望を広く学びます。半期科目であり、新松戸キャンパスで開講しました。各回のテーマ、講師は表10のとおりです。受講生数は55人でした。

表10 「全国通運連盟寄付講座－秋学期、新松戸」の2020年度の実施結果(55名)

回	テーマ	講師
1	ガイダンス	流通経済大学 林克彦
2	物流の歴史(1)	物流博物館 玉井幹司氏
3	物流の歴史(2)	物流博物館 森田耕平氏
4	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(1)	日本通運(株) 小野哲平氏
5	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(2)	センコー(株) 堀江麻里氏
6	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(3)	(株)丸運 岡本将一氏
7	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(4)	SBSロジコム(株) 堀江光春氏
8	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(5)	協同組合全国地区通運協会 石井清之氏
9	物流事業及び鉄道利用運送事業の概要について(6)	協同組合全国地区通運協会 石井清之氏
10	JR貨物に関する知識(1)	日本貨物鉄道(株) 登尾潤也氏
11	JR貨物に関する知識(2)	日本貨物鉄道(株) 堤坂拓哉氏
12	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(1)	屋久島電工(株) 宮田昇氏
13	荷主企業における物流と鉄道コンテナ輸送(2)	(株)ブルボン 稲田浩氏
14	日本経済と鉄道貨物輸送ネットワークのあり方について	流通経済大学 林克彦
15	講義のまとめ	流通経済大学 林克彦